

◇行事報告◇

No. 19-47 JSME ジュニア会友向け 機械の日企画 「親子見学会 ～日本のものづくりと動力機関を学び、将来を考えよう～」

部門企画委員会 宮田学（デンソー）、川口忍（東京ガス）、門馬伸之（日本原子力発電）、小池上一（IHI）

将来を担うジュニア会友に、機械や工学、エネルギーに興味を持っていただくことを目的として、2019年8月7日（機械の日）に「日本のものづくりと動力機関を学び、将来を考えよう」をテーマに夏休み親子見学会を開催しました。本見学会は毎年開催しており、16回目となる本年は、初めて東海地区での実施となり、トヨタ産業技術記念館、あいち航空ミュージアムおよびMRJミュージアムを訪問しました。当日は、晴天の下、ジュニア会友の小・中学生14名と保護者の方々12名の合計26名にご参加いただきました。

午前中に訪問したトヨタ産業技術記念館では、繊維機械が一堂に展示されており、大正・昭和初期から現代に至るまでの繊維機械の歴史を学ぶとともに、実演により、機械が糸を紡ぐ様子や布を折る様子を目の前で見ることができました。子供たちは、昔の機械が音をたてながら動く様子を熱心に観察していました。また、自動車の走る・曲がる・止まる仕組みやエンジンなどの構成部品や生産方法の変遷を工場のような大きな展示場で見学しました。プレス機械や溶接ロボットなどは、ボタンを押すと動き出し、その迫力を実感しているようでした。

午後は、貸切バスで移動し、あいち航空ミュージアムおよびMRJミュージアムに向かいました。あいち航空ミュージアムでは、日本の飛行機の歴史に名を残した名機100機の1/25スケール模型が展示されており、ちょうど、「名機百選総選挙」が行われていました。子供たちは、ショーケースを行ったり来たりしながら、自分のお気に入りの飛行機を投票していました。また、実際に大空を飛んだ国産旅客機YS-11などの多くの飛行機を間近に見ることができ、興味深い様子で何度も訪れていました。

MRJミュージアムでは、YS-11以来となる国産旅客機であるMRJ（スペースジェット）の開発から量産に至る過程を実物大の展示と最終組立工場での実際の製作状況を通して見学することができました。子供たちは、主翼の形状やその表面の滑らかさに触れたり、キャビンのシートに座ってリクライニングを試したりと種々の工夫を実感できたものと思います。組立エリアでは、4台のMRJが組立中であり、展示で学んだことを実物で確認している様子でした。

参加していただいた子供たちには、見学会を題材にした自由研究作品の応募をお願いしました。優秀作品は、日本機械学会ジュニア会ホームページ等で紹介する予定ですので、是非ご覧ください。

最後に今回の見学会で大変お世話になりましたトヨタ産業技術記念館、あいち航空ミュージアムおよびMRJミュージアムの方々に感謝申し上げます。また、猛暑の中、熱心に見学いただいた参加者の皆様にも感謝いたします。



トヨタ産業技術記念館



MRJミュージアム